

## はたらくサミット 学生レポート

職サークル運営事務局・株式会社パフ 内定者 山下茜

### オープニング、アイスブレイク、ポンタさん講演

ポンタさんの講演は、とても有意義な内容で自分個人としての学びもありました。目的、目標、手段の明確化や、成長のポイントは、就活だけでなく、社会人として、いち人間として役立つ情報だと思いました。

### ワークショップ:自分にとって、はたらくとは？

>テーマ①:自分にとって、はたらくとは何か。お金を稼ぐ以上の価値があるとすれば何か

私の班では、やりがいキーワードでした。「年齢でやりがいって変わるよ」という人事の意見が印象的でした。その方は、20代は残業してガッツリ時間をかけて働くのがやりがいで、30代で部下ができる、部下の成長でやりがいを感じる、と仰っていました。

自身の経験や環境でやりがいは変わり、多方面からいろんなやりがいを感じられたらいいな、と思いました。

>テーマ②:自分ははたらくことによって何を得たいか。

私の班では、人脈、コミュニティ、存在価値、やりがい、スキルが出ました。個人個人で全く意見が違ふこと、意見交換することで新たな発見がありました。私は意見交換する中で、あれこれ得たいものがたくさん出てきました。はたらくことで得たいものが無いと、作業になってしまう。得たいものを得るために動く(はたらく)、得たいものが自分の動かすのかなと思いました。

### トークセッション:社会は広いぞ大きいぞ/天職の探し方

釘崎さんとポンタさんの対談は、企業人事とはまたちがう意見が得られて、有意義だったと思いました。

私は天職の定義は人それぞれだと思い、私は釘崎さんの「天職は追いつけるもの」という意見が、自分の意見に近いなと思いました。

また、理想とする社会人像を、社会人を含めて話し合ったのは初めてでした。社会人になっても理想を追いつけるものなんだ！社会人っていつになったら一人前って言えるんだろう？と思いました。

グループ内で「弱いリーダー」という意見が出たのが刺さりました。弱音を吐ける、周りにうまく助けてもらえるリーダーが一番成果をだせるのではないかという意見に関心しました。

### ソリューションフォーカス

イベント終盤だったこともあり、企業側も、学生側もすごくフラットに、楽しそうに話している印象がとても強かったです。

本来は就活の面接もこれぐらいお互い気持ちも、距離も近くあるべきでは？と思いました。

## おわりに

時間が限られたなか、学生も企業側も全力で向き合えたと思いました。学生、企業なんてくくりはなくて、フラットに意見交換できたと思います。

目標に対しては、企業の話聞く中で、自分の不安がスッキリさせることができました。企業の皆さんは気を遣ってくださって学生に「どう思う？」と聞いてくれることが多かったため、「自分はこう思うんだよね」とももっともって語ってくださっても嬉しいな、と思いました。

パフのイベントはあいまいで宣伝しづらい、集客しづらい部分もあるなと思った一方、得られるものは必ずあるので、もっと学生に来てほしい！と強く思いました。